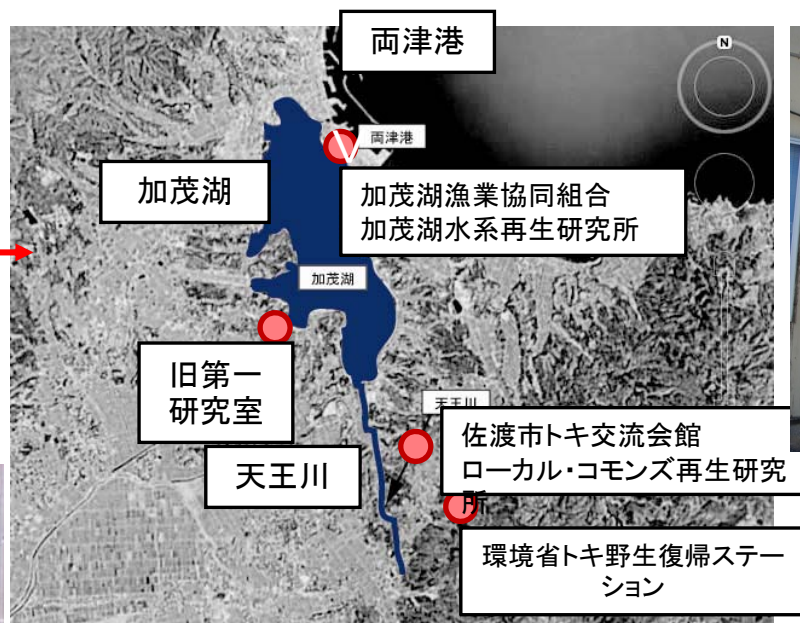
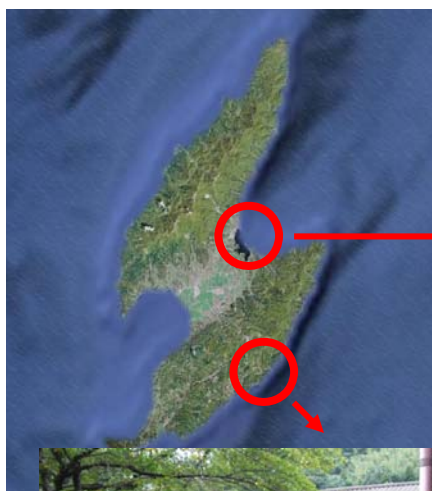


地域主体形成における 「佐渡島加茂湖水系再生研究所」の役割

「地域共同管理空間(ローカル・コモンズ)の
包括的再生の技術開発とその理論化」プロジェクト・チーム

佐渡・加茂湖と天王川、加茂湖水系再生研究所



加茂湖漁業協働組合
加茂湖水系再生研究所

カモケン岩首研究室
旧岩首小学校廃校舎再活用

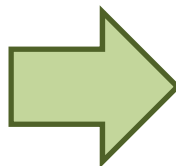
カモケン

河川・湖沼・海岸・森林・湿原・棚田（耕作放棄地などを含む）等のローカル・コモنزの再生を通して自然環境と地域社会を包括的に再生するための技術、およびこれを実現するためのプロジェクト推進技術の開発とその理論化を行うための活動拠点であり、ローカル・コモنز再生の課題をもつ地域間のネットワーク拠点である。

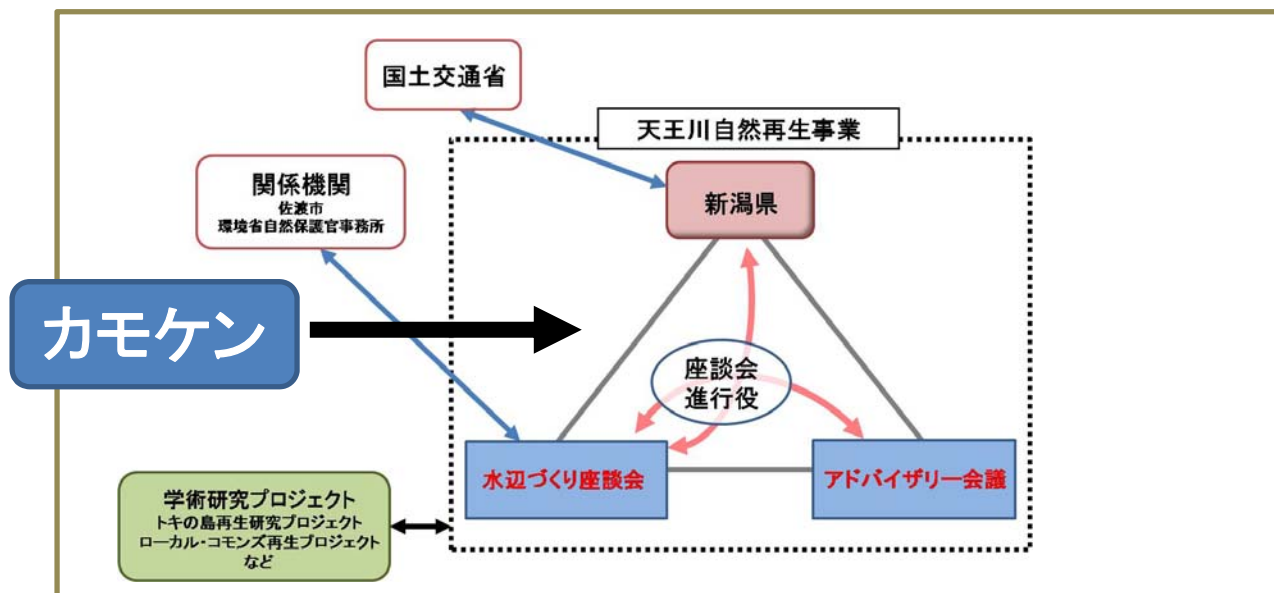
カモケンの活動例：天王川自然再生事業のしくみ（先駆的多自然川づくり） 新潟県の河川事業を支援



天王川(新潟県佐渡市)



和泉川(神奈川県横浜市)



天王川自然再生事業のしくみ

カモケンの活動例：コミュニケーション空間（座談会）のデザイン

①新たな価値発見と認識共有のための空間体験

フィールドワークショップの実践

- 行政や専門家の一方的な説明ではなく、住民側からの情報も積極的に取り入れ、対話する.
- 創造的な議論のための素材探しと雰囲気づくりのために、参加者が楽しみながら空間体験を共有できる活動をデザインする.



カモケンの活動例：コミュニケーション空間（座談会）のデザイン

②建設的な議論を展開するための空間設計

- 基本的に机やいすは使わず，シートの上に円状に座る.
- 参加者が直接的に対面で議論するのではなく，模造紙や流域の地図を中央に広げて，それについて意見を出し合う.
- 参加者全員が付箋に意見を書いて，地図や模造紙に貼り付ける.



カモケンの活動例：天王川再生プロセス（多自然川づくりのモデル事業）へのCO2削減効果の参入の提案と実装

ローカル・コモンズ再生研究開発グループから削減量算定の提供

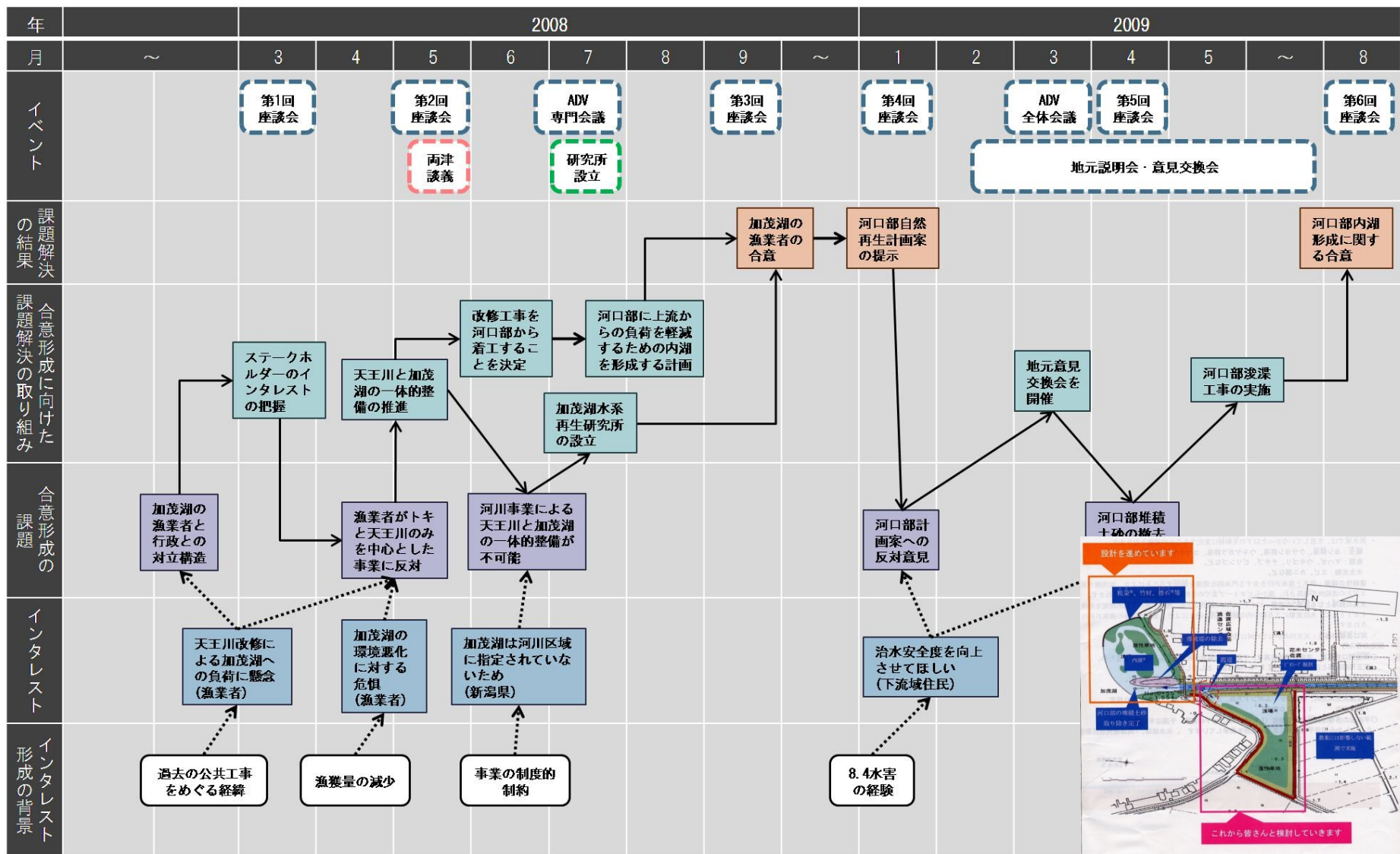
下流1000m区間が改修必要
護岸高4m * 両岸 * 1000m=8000m²

旧来工法	$8000 * 0.16934 = 1354 \text{ton-c}$
多自然工法	6割削減型 812.4ton-c削減
	8割削減型 1083.2ton-c削減
耐用年数50年	16ton/year
	22ton/year



合意形成プロセス構造把握フレーム(東京工業大学 桑子研 高田知紀作成)

天王川再生事業(2007.3~2009.8)



合意形成とは、人びとの間にある多くの対立の解決を積み上げる一連のプロセスである

カモケン活動一覧(地域のニーズに応じた多様な展開)

	2008						2009												2010			
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
体制づくり	カモケン 設立				コモンズ PJ スタート												カモケン 総会				コモンズ研 設置	
					イチケン 開室																	
脱温暖化・自然再生					脱温暖化ロードマップの作成																	
							葦場再生実験															
											素浜海岸漂着ゴミ対策活動											
											カワツルモ 調査						環境フォーラム In加茂湖					
事業の支援	第1回 ADV 専門 会議		第3回 座談会				天王川 意見 交換会		第2回 ADV 全体 会議		第5回 座談会			第6回 座談会		第7回 座談会				第8回 座談会		
							第4回 座談会															
環境教育		加茂湖に 来いっちゃ 談義			いい 中津川 づくり							佐渡中等 加茂湖 談義		エコ ウォーク								
地域づくり	景観 ①	風景 談義		元気に なる談義													廃校舎 サミット					
		漁協 風景		景観 ②													潟端 談義					
トキ野生復帰		第1次 試験放鳥													第2次 試験放鳥							

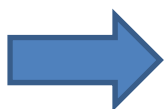
カモケンの活動の特色

多様なインタレストに応じた包括的再生の理念

「ローカル・コモنزの再生」という目標の共有

天王川・加茂湖を「地域共同管理空間」として多様な人びとが利用する場であると捉えた（自然環境を保全・再生するだけでなく、それを維持管理してゆくための社会のしくみも同時に再生する）。

- 山から海への水の道を緩やかに柔らかくつなぐ（地域全体へのまなざしを共有）
- 自然という恵みと人びとの暮らしをつなぐ（自然環境と社会環境の統合的把握）
- 地域のもつ恵みとリスクの負担をつなぐ（配分の正義・衡平性の実現）
- 制度と行政の仕組みの切れ目をつなぐ（タテワリ・ヨコワリのギャップを架橋）



「包括的再生」の理念

談義と協働行為を通じて明らかになる人びとの多様なインタレストに応じて、地域空間の包括的再生に向けた活動目標を展開

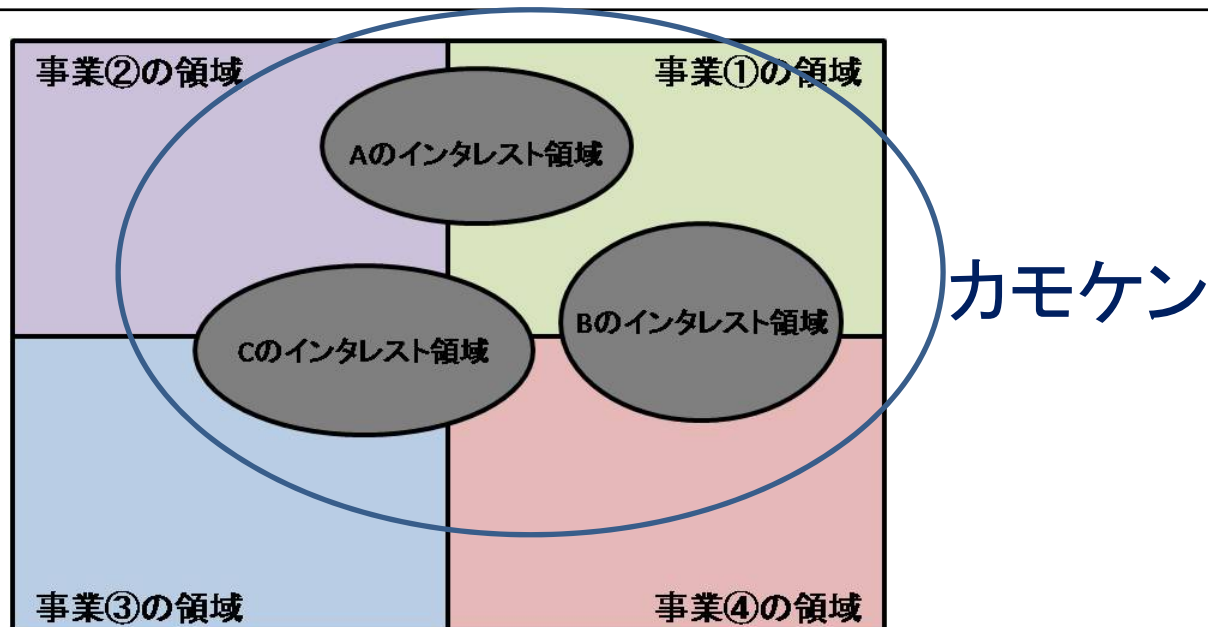
カモケンの体制

創造的な課題解決のための体制づくり

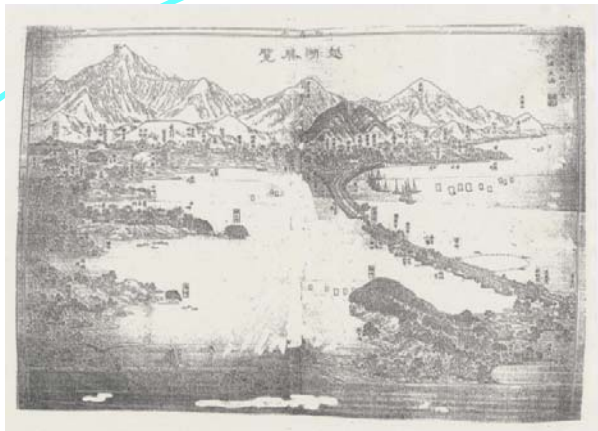
人びとの多様なインタレストに応じた研究所の活動内容

- 天王川を含んだ加茂湖水系の自然環境の保全・再生
 - 佐渡島の地域づくり活動
 - 佐渡島での環境教育活動
- など

市民, 行政関係者, 学識経験者などがそれぞれの役割を超え, また, 行政的区割り・制度的制約を超えて創造的に課題を解決するための体制の構築



カモケンの実践哲学



風景のなかの歴史・文化の掘り起こし



環境保全・再生の実験・実践



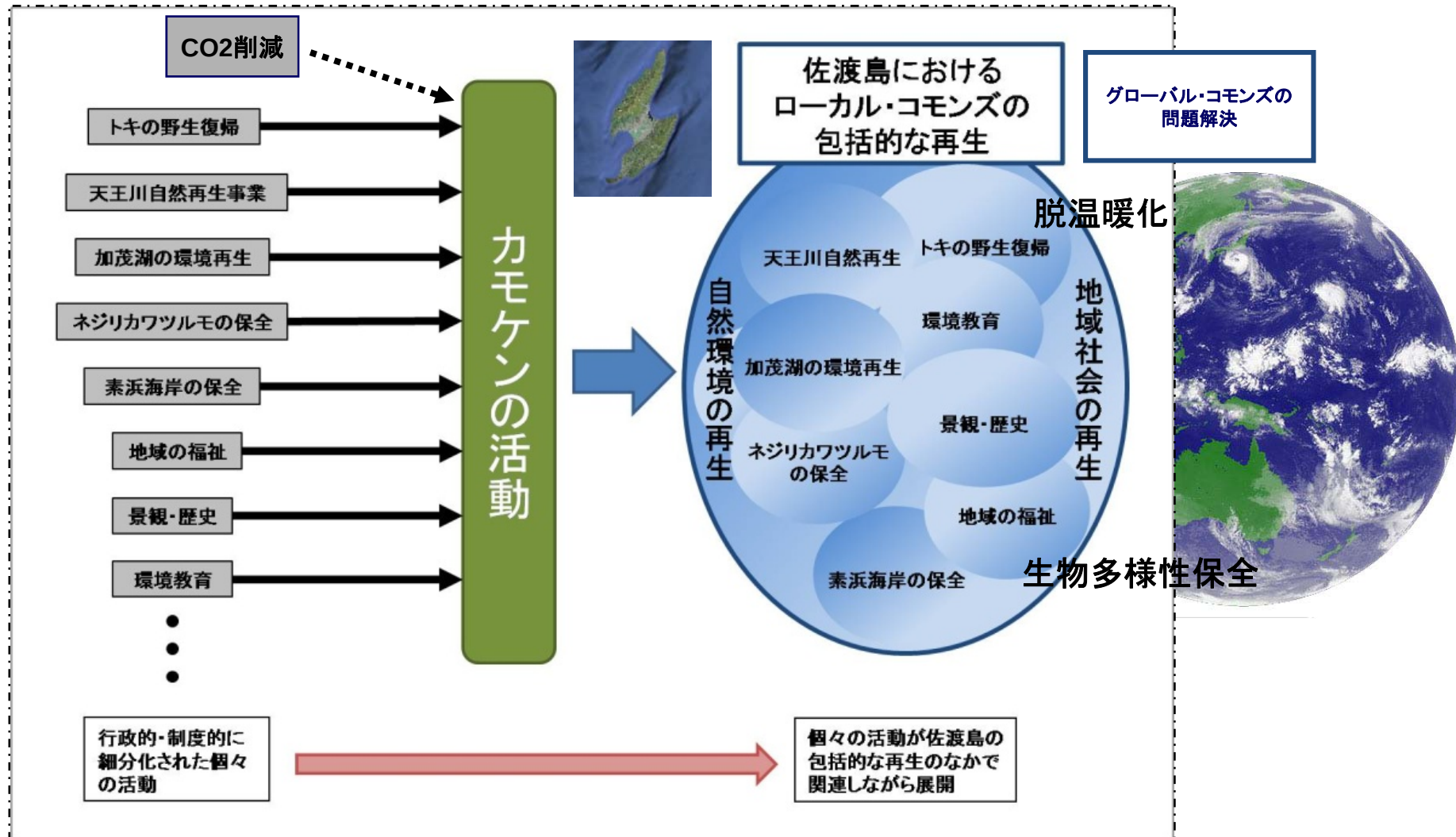
地域一体となった環境教育



医療福祉を通じた地域社会の
持続可能性の探索

包括的再生を可能にする多角的・多面的活動・・・
多様な地域特性(局所的風土性)によって生成する「意見」「意見の理由」「理由の来歴」
を認識し、ステークホルダー・インタレスト分析へと展開すること、さらに、これをふ
まえた合意形成プロセスの参加者が地域の複雑な課題をみずから把握し、談義と協働
を通して問題解決を図りつつ、その能力を高めること(環境的自律性の涵養)を目指す

多様なインタレストを統合する場としてのカモケン 多様な活動の主体形成の訓練場としてのカモケン



「カモケン」から「カモケン+コモンズ研」への新たな展開

「ローカルコモンズ再生研究プロジェクト」関係機関連携図(2010年度)

